

授業概要

社会政策は、労働や生活のなかで発生する様々な社会問題に対処する政府の政策を意味します。この講義では前半で雇用関係にかかわる社会政策を検討し、後半では社会保障政策について、国際比較を考慮しながら講義します。現在、失業が高止まりし、高度成長期に解決されたと思われていた貧困が不気味に復活しています。こうした現実を解明し、これを克服する新しい社会政策を展望します。

授業計画

第1回	講義の目的と構成
第2回	雇用関係（！）－雇用契約
第3回	雇用関係（２）－労働条件の決定様式
第4回	雇用関係（３）－雇用レジームとマクロ経済の動態
第5回	雇用レジームの現状（１）
第6回	雇用レジームの現状（２）
第7回	労働政策（１）
第8回	労働政策（２）
第9回	社会保障政策（１）－年金
第10回	社会保障政策（２）－遺族、障害
第11回	社会保障政策（３）－保健医療
第12回	社会保障政策（４）－家族
第13回	社会保障政策（５）－生活保護
第14回	国際比較（１）
第15回	国際比較（２）
第16回	定期試験

到達目標

- ・社会問題が発生する仕組みを理解し、それに対処する社会政策の目的、措置、財源を理解する。
- ・社会問題と社会政策のダイナミックな変化と動態を示す統計の所在とその読み取り方を修得する。

履修上の注意

- ・シラバス（授業計画）および統計を配布するので、毎週必ず持参すること。また一度しか配布しないので注意して下さい。
- ・シラバスには授業内容の概要しか記載されていないので、しっかりノートをとること。
- ・講義の最後に出席調査を兼ねて、その日の講義内容をまとめてもらいます。
- ・やむをえない場合を除き、欠席・遅刻は認めない。また授業中のおしゃべりは厳禁です。

予習復習

- ・シラバスとノートを利用して復習してください。
- ・特に統計の所在とその読み取り方を復習して下さい。

評価方法

- ・講義のなかで小テストをする。
- ・小テストと期末試験を総合的に判定して成績を評価する。

テキスト

- ・テキストは指定しないが、シラバスと資料を配付する。